



発行責任者 / 小林 政氏
発行日 / 2005年11月1日

当事務所は、平成17年1月
ISO9001を認証取得しました。



● 経営コンサルティング
● 経理
● 会計

小林合同会計

所長税理士 小林政氏 税理士 山野基尚

〒332-0032 埼玉県川口中青木1丁目1番25号
TEL (048) 253-5668 FAX (048) 253-7602
<http://www.e-cg.co.jp>

所報タイトル「飛躍」は所内で掲げる

平成17年度の目標です。

～ ISO内部監査を終えて～

ISOってなに？ ISO内部監査とは？

当事務所は、平成17年1月にISO9001(品質マネジメントシステム)を認証取得しました。一般的に品質マネジメントシステムとは、製品の品質管理のことです。当事務所での品質マネジメントシステムとは、所内の漠然としていた業務手順を明確にし、管理体制を整えることです。また、顧問先の皆様が求めるもの、サービスが何かを把握し提供していくこと…などがあてはまります。

内部監査(品質活動及び関連する結果が、計画通りになっているか否かを検証するために実施するもの)は、年に2回(4月と10月)に当事務所を健全に運営させていくために所内を監査することです。

今回は、ISO9001を取得後2度目の内部監査となりましたが、顧問先の皆様のためにも来年以降も継続していきます。

ISO

ふらつと

しゅんけん

海外編



「黄砂に吹かれて 2005」

田口英雄

9月に顧問先の関係で中国に出張する機会がありました。どれも初めての経験ばかりでとても貴重なものになりました。今回はそんな体験をご紹介しますと思います。

[交通事故注意報]

まず驚いたのが交通事情でした。空港から目的地までは高速道路で移動したのですが、明らかに積載量超過のトラック(野菜、鶏等を積んでいる)が70kmくらいの速度で走っており、しかも車線変更する際にウインカーをださないで、追い越しをする際は速度を落としパッシングとクラクションで相手に自分の存在を知らせる必要があるのです。そんなことを2時間半繰り返して、やっと目的地の丹東市まで着いたのですが、街中は信号機がほとんどないため自動車、オートバイ、自転車が入り乱れて走っている状態で、日本人ではまず運転できないだろうと思います。(多少の接触は気にしていない様子)

[埃注意報]

目的地の丹東市は川を挟んで北朝鮮が見えるところにあり、思っていたよりも街中は整備されていましたが、まだまだ発展途上といった感じで、工事がいたるところで行われていました(冬になるとマイナス20℃位になり工事ができなくなるのでその影響もあり)。日中の屋外は埃っぽく(黄砂?)、黒い車両を一日中外に出しておくといくらか埃がかなり目立つくらい積もっており、私も2時間くらい外に出ただけですが、喉と目が痛くなり顔もざらざらしていました。夜になると街灯やネオンが少ないためかなり暗くなります。

[お酒注意報]

滞在初日に現地の方が歓迎パーティーを催してくれたのですが、中国での乾杯は必ず一気という決まりがあるようなのです。ゲストの私は出席者全員と乾杯するのですが、お酒が40度ぐらいある代物で、飲むと喉が焼けるような感覚に襲われ、当然のごとく私は5～6杯飲んでギブアップ！！

聞いたところによると現地の方はほぼ毎日このような飲み会を友人たちと行っているそうです。

[偽物注意報]

偽札がかなり流通しているようで、買い物時に紙幣を渡すとどの店でも店員が透かしの確認などをしていました。

でも、その店で売っているのはブランド物の模造品であったりするのでなんとも複雑な社会だと一人で納得してしまいました。(偽札で偽物を買うことはある意味正しい?)。

この他いろいろとあったのですが今回特に強く感じたことは「百聞は一見にしかず」ということでした。皆さんもぜひ一度黄砂に吹かれてみては？

百ます計算 (たし算)

+	3	8	1	7	5	2	6	9	0	4
1										
7										
9										
0										
4										
8										
2										
6										
5										
3										

百ます計算 (ひき算)

-	16	12	15	11	17	13	19	14	18	10
5										
6										
1										
8										
4										
0										
2										
3										
7										
9										

たて軸の数字とよこ軸の数字の交わる場所になるべく早く答えを書いていきましょう。

最近、新聞やテレビで「脳の活性化」の話題が目につきますが、ご多分にもれず、私も物忘れや人の名前がすぐに思い出せなかったり・・・と、脳細胞は減少する一方です。

今、そんな大人の為のプリント集が書店の一角を占めているのをご存知ですか？その中の一つに「百ます計算」というものがあります。

毎日繰り返し事によって脳の活性化につながるようなのです。実践している小学校がテレビで紹介された事がありますが、毎日にスピードが上がりほとんどの生徒が一分からずじまらに終了する様になるのです。

単純計算ではありませんが、なかなか・・・です。

気分転換にちよつと試してみたいか？

「脳」いきいきしていますか？

野村洋子

脳を活性化
百ます計算